

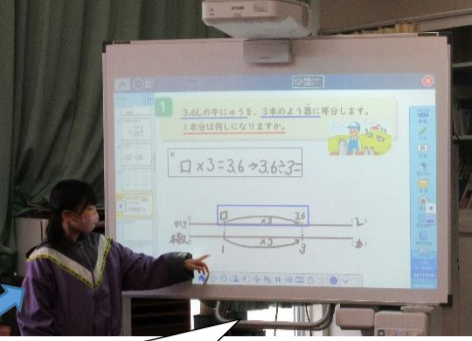
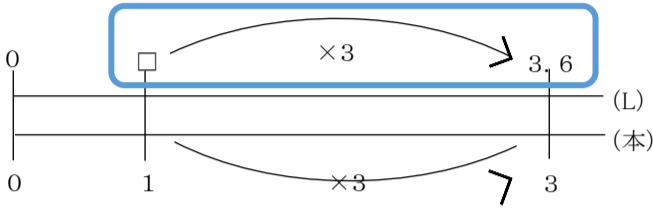
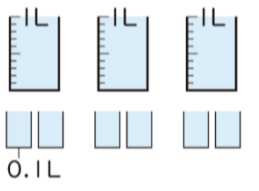

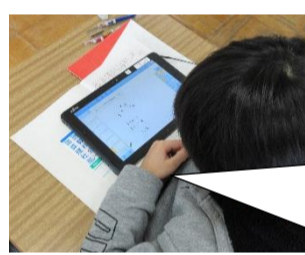
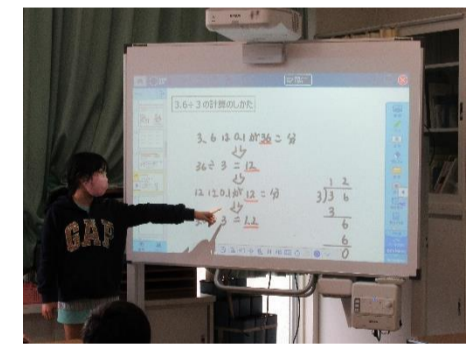

# 研究推進だより

令和3年1月25日

文責:森

【1.13 4年生学年部研「小数のかけ算とわり算を考えよう」】 ☆小木曾先生ありがとうございました ☆

授業まとめ

	学習内容	学習過程・発問(対話を生み出す手立て)	子どもの姿・ICTの活用
つかむ	<p>1, 学習問題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;"> <p>3.6Lの牛にゆうを、3本のように器に等分します。 1本は何Lになりますか。</p> </div>	<p><b>【①前時の学習を振り返る】</b></p> <p>○昨日の学習を振り返るよ。 →<math>0.5 \times 3 = 1.5</math>。 0.1が5こ分で<math>5 \times 3 = 15</math>で1.5になる。</p>	 <p>投影された数直線図を指し示しながら、立式の根拠を伝えることができています。</p>
考える	<p>2, 立式する。(数直線図)</p>  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;"> <p><math>\square \times 3 = 3.6</math> <math>3.6 \div 3</math></p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ わられる数が小数になっている。</li> <li>・ 式が小数÷整数になっている。</li> </ul>	<p><b>【②問題を基に本時の課題を設定する】</b></p> <p>○今日の問題です。分かっていること、聞いていること、どうぞ。 →分かっていること: 青線 聞いていること: 赤線 すぐ書きこむ姿。</p> <p>○式できる? 今日も数直線図でやるよ。どうぞ。 →数直線図から考えると、<math>\square \times 3 = 3.6</math>になる。 だから式は<math>3.6 \div 3</math>だと思います。</p>	<p>数直線図を用いて立式すること、説明することによって、 だわった指導が子どもの姿につながっている。</p>
深める	<p>3, 課題を設定する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;"> <p>小数÷整数の計算のしかたを考えよう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ かけ算の時のように0.1のいくつか分で求められそうだ。</li> </ul> <p>4, 課題追究する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;"> <p>0.1をもとにして考える 3.6は0.1の36こ分。 <math>36 \div 3 = 12</math>で、 0.1の12こ分だから1.2</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;"> <p>位ごとに分けて考える</p> <p>3.6を3と0.6に分ける。 <math>3 \div 3 = 1</math> <math>6 \div 3 = 2</math>(0.1が2つ分) <math>1 + 0.2 = 1.2</math></p>  </div>	<p>○今までと何がちがう? →小数÷整数の計算になっている。 ○今日の課題は? →小数÷整数の計算の仕方を考えよう。</p> <p>○どうやったらできるかな? →かけ算のようにできると思う。 ○自分たちでやりたい? では7分どうぞ。</p> <p><b>【③個人追究をする】</b></p> <p><b>【④全体交流をする】</b></p> <p>「0.1をもとにして考える」意見をつなげていく。 2名発表。</p> <p>「位ごとに分けて考える」意見をつなげていく。 3名発表。</p> <p>※「0.1がいくつか分」という言葉にこだわる。 必要に応じて問い返す。</p>	 <p>3.6は0.1が36こ分。 <math>36 \div 3 = 12</math>。 12は0.1が12こ分を表しているから答えは1.2。</p>  <p>3.6を3と0.6に分ける。 <math>3 \div 3 = 1</math>。 <math>6 \div 3 = 2</math>。この2は0.1が2こ分のこと。だから答えは、1.2になる。</p>
まとめる	<p>5, 全体で交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ それぞれの考え方を説明する。</li> <li>・ 2つの方法で似ているところを見つける。 →0.1のいくつか分で考えているところ。</li> </ul> <p>6, 本時のまとめをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;"> <p>小数÷整数の計算もかけ算の時と同じように、0.1のいくつか分で考えて、整数÷整数にすると求めることができる。</p> </div>	<p><b>【⑤深めの発問】</b></p> <p>(上記の1, 2の考えを指しながら) この2つの考えで似ているところってどこ?</p> <p>→「0.1がいくつか分」で考えているところ。 整数に直して考えているところ。 ・0.1がいくつか分と考えると、整数に置き換えて計算できる。 ・どんなよさがあるのと内容を問う。</p> <p><b>【⑥本時のまとめをする】</b></p> <p>※子どもたちの言葉を使いながら、教師がまとめていく。</p> <p>※子どもたちの実態に応じて、自分の言葉でまとめられるようにしていきたい。 →「深めの発問」でもっと一人ひとりが「なぜ?」と考える時間を設定し、解決していくことで理解が深まり、自分の言葉でまとめられるようになるのではないかと。</p>	<p>計算の仕方を筋道立てて伝えることができる。</p>  
	<p>7, 練習問題に取り組む。 P. 208 えんぴつ1</p>	<p><b>【⑦評価問題を解く】</b></p> <p>☆評価問題のゴールを示す。 「この問題は〇〇ができたならOKだよ。」</p> <p>○評価問題に取り組んだ後、 「英語ペアで交流どうぞ。」</p> <p><b>【⑧振り返りをする】</b></p> <p>☆今日の学習ページを印刷し、ノートに貼る。 ※学習の足あとを残していく。</p>	